豊岡市

2025年
8月発行
第102号

議会だより



新しい城崎大橋のもと城崎レガッタ大会が開催　⇒関連記事 裏表紙

もくじ

6月定例会の報告…… 2〜 3
一般質問に20人…… 4〜14
意見書……15
常任委員会視察報告…… 16〜17
3月定例会の委員会意見と当局回答……17
まちの仕掛け人訪問インタビュー……18
9月定例会のお知らせ・編集後記 ……18

発行：豊岡市議会
編集：議会広報広聴特別委員会
〒668-8666
豊岡市中央町2-4
Tel：0796-23-1119
Fax：0796-24-8041
E-mail gikai@city.toyooka.lg.jp
URL https://www.city.toyooka.lg.jp



2025年度 補正予算 原案可決
副市長に 土生田 哉氏
監査委員に 中嶋 英樹氏を選任

専決処分したものの承認、物件購入契約、条例の一部を改正する条例制定及び改正、有償旅客運送条例の一部を改正する条例、訴えの提起、補正予算、意見書、請願などを審議しました。

主な議案の審議状況をお知らせします。



ホームページでも議会の情報をご覧いただけます。豊岡市議会 検索 ポチッ

《賛否が分かれた議案》

第54号議案　訴えの提起について
第55号議案　令和７年度豊岡市一般会計補正予算（第３号）

【反対討論（要旨）】

本議案は、介護拠点整備補助金などの不正受給で、本市に損害を与えた者への訴えの提起である。

行政が市民を訴えることは慎重であるべきであり、閉会日の今日提出され、直ちに採決では十分に検討する時間もなく、現時点では判断できないため反対とする。

（日本共産党豊岡市会議員団議員）

【賛成討論（要旨）】

本議案は、不正の手段により介護事業所の指定を受け、介護給付費及び補助金の給付を受けるなどした法人の元代表取締役に対し、市が受けた損害を求めるものである。訴えの相手方に悪意または重大な過失があったことは明らかであり、訴えの提起をすることは適切である。

（令和とよおかクラブ議員）

意見書案第２号　米の価格高騰対策と持続的な農業政策を求める意見書の提出について（詳細はP15）



新市長初の定例会（5月30日開会日）

【補正予算の概要】

・水道料金の基本料金を無償化	8,716万円	
・竹野地域予約型乗合交通の導入	2,710万円	
・城崎町湯島建物火災に係る経費	1,151万円	
・街区表示板の更新・設置	743万円	
・ツキノワグマ出没防止対策事業	300万円	
・＃7119 救急安心センター事業	279万円	
・フリースクール民間施設運営支援	140万円	ほか

6月 定例会 議案審議

5月30日～6月25日（27日間）

意見が分かれた議案の賛否一覧表

本会議での賛否を公開します。掲載のない議案は全会一致で可決されました。

賛成は「○」、反対は「×」、議長は採決に加わらないので「／」で表示しています。

会派名	豊義会									令和とよおかクラブ				ひかり			日本共産党豊岡市会議員団			豊岡市議会公明党		ともによおか。	青松	ことのは	審議結果
議員名 / 議案名等	浅田 徹	荒木慎大郎	岡本 昭治	小森 弘詞	芹澤 正志	中尾 浩二	前田 敦司	森垣 康平	米田 達也	石田 清	清水 寛	田中藤一郎	福田 嗣久	太田 智博	西田 真	義本みどり	上田 伴子	須山 泰一	村岡 峰男	芦田 竹彦	竹中 理	山田 貴久	松井 正志	加藤 勇貴	
第54号議案　訴えの提起について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	／	○	可決
第55号議案　令和７年度豊岡市一般会計補正予算（第３号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	／	○	可決
意見書案第２号　米の価格高騰対策と持続的な農業政策を求める意見書の提出について	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	○	／	○	否決

6月定例会

一般質問に20人

※ここに掲載する質問・答弁は、6月9日～12日のものです。内容については、昨今の社会情勢・対応策等、日々状況が変わってきています。

市民の皆さんの身近な問題、市の予算や政策など、さまざまな課題について活発な議論を交わしました。

代表質問

芹澤正志（5ページ）
- 市長施政方針
- 2025年度予算

福田嗣久（5ページ）
- 市長所信表明

須山泰一（6ページ）
- 市長の所信表明
- 2025年度予算

太田智博（6ページ）
- 市長の施政方針
- 2025年度予算

竹中理（7ページ）
- 市長の施政方針
- 2025年度予算

個人質問

清水寛（7ページ）
- 経済が活性化するまちづくり
- 職場や社会環境整備
- 各種計画の連携

上田伴子（8ページ）
- こども医療費
- 不登校対策
- 生活保護受給者への対応
- 外出支援サービス利用助成事業
- 認可外保育施設への市の対応

荒木慎大郎（8ページ）
- 三江小学校の長寿命化改修工事
- 選挙
- 災害に備えたまちづくり
- 豊岡市の特徴的な施策
- 人口減少に対する取り組み

山田貴久（9ページ）
- PFAS
- 個人市民税の減税
- 豊岡市フリースクール等民間施設運営支援補助金
- 防災拠点整備
- Aity裏の芝生地
- 寺坂汚水調整池工事
- 城崎温泉交流センター（さとの湯）の石綿（アスベスト）など

石田清（9ページ）
- 内水対策
- 地域経済の活性化
- 子育てと学びへの支援

米田達也（10ページ）
- 新しい市政
- 選挙
- 有害鳥獣対策

前田敦司（10ページ）
- 子育てに優しいまちづくり
- 子どもに向き合う学びの時間確保のための教職員の負担軽減
- 市内企業・団体と共創した市民サービスの拡充

小森弘詞（11ページ）
- 公共施設、特にコミュニティセンターの利活用
- 医療政策
- 有害鳥獣対策
- 行政区のあり方

村岡峰男（11ページ）
- 市長選挙における「公約」
- 市長選挙
- 超過課税
- 農政

義本みどり（12ページ）
- 放課後児童クラブ
- 市のめざす幼児教育
- 健康福祉部局の行財政改革と業務改善

森垣康平（12ページ）
- 観光施策
- コミュニティセンター指定管理
- 出石温泉

田中藤一郎（13ページ）
- 市長総括説明
- 豊岡市財政と公共施設マネジメント
- 豊岡市の地方創生と市政運営

中尾浩二（13ページ）
- 多文化共生推進プラン
- 観光の増進

浅田徹（14ページ）
- 安全に安心して暮らせるまち
- みんなで集える地域づくり
- 農業の推進

加藤勇貴（14ページ）
- 学びを核にしたまちづくり

市議会の本会議がインターネットでご覧になれます！



インターネットにより、定例会の様子をライブ中継と録画中継で映像配信しています。
ぜひご覧ください。

豊岡市議会インターネット中継　検索

スマートフォンでも定例会のライブ中継を配信!



安心して暮らすための クマ対策はどうする！

令和とよおかクラブ　**福田　嗣久 議員**

答　バッファゾーンの整備実施、さらに強化！

安心安全なまちづくりについて

問　安心安全な暮らしの前提となる有害獣対策についての見解を問う。また通学対策はどうか

答　捕獲と防除の両輪で対策を進めている。県民緑税を活用した野生動物共生林整備事業や市独自の獣害対策の緩衝帯森林整備事業など、野生動物が潜む場所を奪うことで人里への出没を抑制するバッファゾーン整備を実施。今後も有害獣の種類に応じたきめ細かい対策を進め、被害の低減及び市民の安全確保に努める。クマへの防除策もさらに強くする必要があるが、クマは管理計画も保護許可も県が持つため県に強く働きかけをする必要がある。子供の通学に関しては、バス通学は小学校3km以上中学校6km以上となっているが、危険な状況という前提で教育委員会が認可の上、合橋小3地区、清滝小4地区に拡大している。パトロールの強化と保護者送迎もお願いしている。



議員のひとこと
クマは保護獣だが､人間こそが保護されるべきだと思うのだけどな…



クマ「おーこわっ！」

問　老朽化した公共施設の改修について、地域の持続可能性と活性化の両立を目指すと述べられている。課題と見解はどうか

答　最初からスクラップ・アンド・ビルドのスクラップが強すぎるという印象を持つ。活用の幅を広げるという発想が大切。サービスの継続性、維持コストの抑制、地域活性化への貢献、環境への配慮、最後が施設の複合化。なくすことが前提でなく、多様な価値観をもって、より活用につながる余地がないかと探ることがポイントだと思う。

動画はこちら



市長が取り組もうとする 人口減少対策とは

豊義会　**芹澤　正志 議員**

答　成果を積み上げて子育てに優しいまちにする

問　岡山県奈義町のように人口減少対策に成功した事例があるがどう思うか

答　人口減少対策は諦めては駄目。まず小さい成功事例を積み上げ、それを市民と共有して、子育てに優しいまちにつなげていく覚悟で取り組んでいく。

問　出生率引き上げの具体策はどうか

答　今年度中に策定予定の第３期豊岡市地方創生総合戦略において、出生率の向上に資する施策、その具体的な事業について検討を進める。

問　女性の市外への流出を防ぎ、回復率を向上させる施策はどうか

答　民間事業者と共に設立している豊岡市ワークイノベーション推進会議で、女性にとって働きやすく、働きがいのある職場への変革に取り組んでいる。また、結婚の支援や、出会いの場づくりも進めていく。



議員のひとこと
他の市町よりも早く、突き抜けた手を打たなければ若者の移住・定住はきびしいです！

防災・減災対策

問　北但大震災から100年を迎え、市民の防災・減災の意識向上につながる対策はどうか

答　市民一人一人が自分の命は自分で守る認識を深める。特にいつ、どこに、どのように避難するのかを、あらかじめ自分で確認し、いざという時の避難行動に役立てるマイ避難カードの活用に加えて、防災リュックの大切さについて、出前講座などの機会に啓発している。



北但大震災から100年、しっかりとした備えを！

動画はこちら

このページは質問者の責任において作成したものです。

大規模火災に関するマニュアル作成の考えは



ひかり　**太田　智博　議員**

答　火災対応マニュアルの作成は考えていない

問　防災計画には風水害や地震等による指定緊急避難場所、指定避難所は明記されているが、火災時の対応マニュアルが無い。火災含めた対応マニュアル等の作成計画はないのか

答　火災は自己責任が大前提であり、区で対応いただきながら、自主防災組織で火災、風水害、地震についてマニュアル等に明記していただきたい。市と行政区、自主防災組織が一体となって安全安心な豊岡をつくっていきたい。

問　消防団と自警団の連携について市の考え方は

答　消防団と自警団を市では自主防災組織と呼んでおり、359区のうち297区に自主防災組織が存在している。火災発生時の初期段階において初期消火活動を行っていただき、消防隊到着後は消防隊の指示に従って消防水利の誘導や確保などの支援を可能な限りお願いしている。

安定的な医療提供体制

問　住み慣れた地域で安心して医療や福祉サービスが受け続けられる持続可能な地域医療福祉とはどのようなイメージか

答　但馬圏域内においては一次・二次・三次医療の連携や、診療所や病院などの医療機関が医療ニーズに応じた役割を果たし続けることが安定的な医療提供体制のイメージである。

三次医療の豊岡病院は、高度かつ専門的な医療を担っており、特殊な診断や治療を必要とする患者の対応を行っている。連携の要となる但馬圏域の回復期や慢性期病床は不足しており、必要性が増している。住み慣れた地域で安定的な医療体制を維持確保したい。



安心した医療を守るドクターヘリ

動画はこちら

学生の奨学金返還を支援する制度創設を求める



日本共産党豊岡市会議員団　**須山　泰一　議員**

答　具体的な制度設計について現在検討中である

問　高等教育・大学の高い学費、奨学金返還の問題に対して、本市にできることとして、奨学金の返還支援を求めてきた。県の奨学金返還支援制度に上乗せはできないか



自治体名のあるところは、奨学金返還支援実施中（兵庫県HPより）

答　市内企業での県制度の活用状況や県下の市町での上乗せ制度の導入状況等を研究し、具体的な制度設計について現在検討を進めている。

高校生の通学補助の拡充

問　議会のたびに議論されている高校生通学補助の拡充を求めるがどうか

答　本市では、バスを利用する高校生に１カ月の定期券代15,000円を超えた全額を補助している。高校の通学が広域化し、本事業開始から14年が経過する中、利用実態等の把握に努め、他市町の状況も鑑み、今後の事業のあり方を検討する。

物価高騰対策のプレミアム商品券

問　本市のプレミアム商品券は郵便局で買わないと使えないが、商品券を配布したほうが使いやすいのではないか

答　20％のプレミアムをつけての販売は、商品券配布以上の経済効果が生まれる。今回は市民の家計の応援と、物価高騰対策で苦労する企業のために景気を回す、両方の意味合いで進めている。

2050年の目標人口

問　2050年の目標人口を、54,000人から48,500人へ下方修正したのはなぜか

答　国勢調査および人口推計の結果が前回より厳しくなっており、出生率の実績等を踏まえて目標を再設定した。まちの総力戦かつ持久戦であり、今後も引き続き我慢強く人口減少対策に取り組む。

動画はこちら



カスタマーハラスメントの課題について

令和とよおかクラブ　**清水　寛** 議員

答　市民に対して、完全に一線を引くことは困難

問　市民と直接接する機会の多い福祉、教育、清掃の各職場の実態はどうか

答　福祉の職場では、相談、訪問等の業務があり、その一部において、例えば威圧的に調査結果の改ざんを求められる、性的な発言を繰り返される、自宅に電話をかけられる、長時間暴言や脅しを繰り返される等のほか、暴行を受ける、刃物で威嚇されるなど重大な案件も発生している。

学校や園では、児童生徒や保護者の相談等に対し、気持ちを真摯に受け止め、管理職やほかの教職員と連携し、共に考える姿勢で対応しているが、まれにカスハラを受ける。学校園から相談を受けた場合、県の通知や文部科学省の取りまとめを参考に、学校来訪者への適正な対応を指導している。

ごみに関する相談や苦情には、ごみステーションに残されたごみの苦情や、収集時間に関する要求などあるが、ガイドライン施行以降、不当要求にあたる報告はない。また、クリーンパーク北但では、搬入者から暴言があった等の事例を聞く。

問　職員や市民に対する市の考え方はどうか

答　実際のケースは不当要求行為等であると明確に判断できるものばかりではなく、未然に防止する観点から、まず傾聴を心がけ、相手の主訴を適切に聴き取り、真摯に対応することが必要と考える。職員が実践的に対応する知識を習得するロールプレイング形式の職員研修を継続実施し、今年で４年目。約90名の職員が受講している。

地方自治体の場合は、実際に不当要求行為等があっても、相手が市民である以上、市民サービスや市の支援を継続していく必要が一定程度ある。



国ではカスタマーハラスメント対策ポスターも配布中！

動画はこちら



25年度予算は前市長の思い。変更する考えは

豊岡市議会公明党　**竹中　理** 議員

答　今のところ変更や大きな減額は考えていない

問　予算は大きな変更はできないと推測するが、県議を務められた新市長の思いの中で、方向性を修正したい部分があれば問う

答　予算は、市長の改選期は市政運営を停滞することなく進める必要があり、骨格予算ではなく本格予算で編成したと聞いている。来年度から後期の施政経営方針と一体的に検討するのが適切であるということから、地方創生総合戦略の計画期間が１年延長されているというのが今年度予算であると認識している。必要と判断した新規施策については、補正予算を通じて反映させていきたい。

子育てに優しいまちづくり

問　当選直後の囲み取材で「子育てクーポン」をやりたいと言われ、翌日の新聞報道で見た。どういう思いがあったのか

答　思いつきで言ったわけでない。これまでの子育て支援策は、行政が先に思いを酌んで提供することが多かったが、それだと、限られた財源の中で全部できないので、ある程度、受益者の子育て世代が選べる政策、予算の使い方に転換できないかということで「子育てクーポン」、また※教育バウチャー的な考え方で政策立案を検討したい。研究を進めつつあるので皆さんにお示しできるようしっかりと検討を進めていきたい。

クマの出没被害対策

問　クマの出没で人身事故も出た。抜本的な対策を講じる必要があるのではないか

答　クマ目撃マップを市ホームページ上に公開し防災行政無線で市長から注意喚起をおこなった。緊急的な対策について現在、準備を進めている。



誘引物となる不要果樹の伐採が必要

※**教育バウチャー**：教育に利用目的を限定したクーポンや金券のこと

動画はこちら

このページは質問者の責任において作成したものです。

三江小学校改修工事の今後の対応は



豊義会　荒木　慎大郎　議員

答　事業実施に向けた調整を行っている

問　長寿命化改修工事に係る文部科学省の学校施設環境改善交付金の内定が不採択となった理由は

答　工事の主要な財源である国の交付金が、年度当初の申請分は採択されなかった。理由については、具体的に示されていないが、国の当初予算規模が昨年度に比べて3分の1程度に減少している。

交付金事業の採択方針における優先順位というものも影響していると考えられる。

既に交付金の再申請を行っており、内定通知等の時期を注視しながら長寿命化改修事業の全体スケジュールを見直し、事業実施に向けた調整を行っている。



議員のひとこと
安全・安心に通える学校の改修工事を！

避難所開設マニュアル

問　市長総括説明の中で「市民の皆さんが安心して暮らせる地域社会を実現するため、自主防災組織の育成や訓練の充実を図り、共助の精神に基づいて地域防災力を高めます」と発言があった。共助の強化として、市の職員に頼らなくても避難所の開設が行えるマニュアルを今後作成する必要があるのではないか

答　例えば、三江コミュニティ専用の避難所運営マニュアルをつくっていただきたい。我々と一緒につくり上げていく事例を少しずつ増やし、豊岡市全域に広げていきたい。



議員のひとこと
豊岡市が防災力の強化をするためにリーダーシップを取ることが重要ではないか。



職員だけでなく市民に向けた避難所開設マニュアル作成を！

動画はこちら

不登校対策は教育行政の大きな柱



日本共産党豊岡市会議員団　上田　伴子　議員

答　豊岡市一丸となって取り組んでいく

問　全国で不登校児童・生徒が増加しているが、本市の不登校の現状、課題、対策について問う

答　不登校は小学校66人、中学校135人で、コロナ禍前の2.1倍、深刻な状況である。小学校の不登校は５年前の3.9倍、特に１～２年生に増えてきていて、これが課題である。学校、地域、支援機関、教育行政で、学校復帰だけを前提としないことを充実させるなど、児童生徒の社会的自立に向けて取り組んでいる。



『フリースクール「TÒIRÒ」』（日高町江原）

問　校内サポートルームの利用人数は4つの小学校で32人、全体の48％。中学校は73人で全体の54％。その他の100人余の子への支援はどうか

答　アイティの支援センターに１日、平均10人くらい通っている。また、家庭にいる子とはタブレット等で連絡をとる等、アクセスを切らさないようにしている。



議員のひとこと
フリースクール、学びの多様化学校などの民間施設とも連携して子どもたちの選択肢を広げてほしい。

生活保護受給者対応のケースワーカーの充実を

問　年々、生活保護受給者が増えているが、ケースワーカー数は足りているのか

答　被保護世帯、80世帯に１人配置が標準。本市は89世帯で、やや上回っている。担当被保護人数106人だが標準はない。

問　愛知県では40世帯に１人程度に増員している。本市では、たった5人のケースワーカーでは大変だ。ぜひ、増員を

答　増員は考えていない。デジタルツールを使って職員の業務負担を減らしていく。

動画はこちら



内水対策の検討と財政計画はどうなっているか

令和とよおかクラブ　**石田　清 議員**

答　浸水想定を基に検討する。事業市費は29%

問　雨水総合管理計画ガイドラインにある内水の段階的対策計画の検討状況と財政計画はどうなっているのか

答　雨水総合管理計画の段階的対策は昨年度末に完成した内水浸水想定区域図を基に作成する。財政面の国からの支援が71％で、事業の市費が29％になることは変わらない。



八代川排水機場への導水路の改修。効果が期待される



議員のひとこと

大幅な職員異動があったため、既存計画にはない地元から要望のあった排水ポンプによる内水対策の効果など、これまでの議論の経緯を踏まえ、事業の進め方を確認的に質問しました。

地域経済の循環と人材不足への対応

問　但馬のサービス業は20年間で21％の消費者需要を喪失し、全産業で人手不足が顕在化している。また、就業者１人当たりの年間雇用者所得は、近隣市と比較して約100万円低い。この差は、何に起因するのか

答　産業・経済の振興のためには事業者の稼ぐ力が高まり、経営と雇用が安定し、税収の確保につながるといった経済の好循環が不可欠である。労働力不足に関しては生産性向上支援や新たな労働力の創出に着目した政策を講じてきた。農業については、営農部分は大規模農家やサービス事業体が、きめ細やかな作業については兼業農家等が、役割分担をしながら連携し、営農と農地保存を図ることで、地域を守る道があるのではないか。

動画はこちら



昨年度PFAS全国ワースト4位の認識は

ともにとよおか。　**山田　貴久 議員**

答　昨年度の6分の1に改善

情報公開

問　PFASは日々変動する。毎日測定をしないと分からない。民主主義の基本となる情報公開をお願いしたい

答　一連の検査が一通り終わった時点で、ホームページで開示させていただきたい。



PFAS除去には活性炭が有効

個人住民税の超過課税分の減税

問　総務省ホームページに豊岡市だけが個人住民税を超過課税していると掲載されている。減税対策にふるさと納税受入額拡大に向けた取り組みは

答　ふるさと納税受入額の拡大に向けた取り組みを着実に進めていきたい。

問　新潟県三条市は、Aさんが移住し、ふるさと納税のCMOになられた。その結果、令和２年度の寄附額７億円から令和５年度は44億円となった。有能人材に移住していただくことも必要では

答　すごい数字だなとおどろいた。貴重なご提案だと思う。



議員のひとこと

個人住民税減税に尽力します。

寺坂汚水調整池工事死亡災害

問　発注者責任として、大事な市民、納税者が死亡されたことは地球より重い。行政当局側も自分事としての労働安全教育が必要では

答　労働安全研修も、監督職員の安全対策意識・知識向上を図るため、検討していきたい。

問　安全対策を確認し、墜落制止用器具の使用の高さの明示をしていただいた上での対応が必要では

答　行政側も少し確認できてないところがあるかなと思う。改めて確認し、必要なところがあれば指導していきたい。

動画はこちら

このページは質問者の責任において作成したものです。

新文化会館詳細設計前にソフト面の検討が必要



豊義会　**前田　敦司**　議員

答　ソフト事業は整備方針の決定後検討していく

問　現在、新文化会館整備の話が進んでおり、既存施設を活用する形での調査が進行中だが、今の時期だからこそ、子育て支援および多世代交流機能を追加し、新たな価値を創出する空間づくりができると考える。人と人とが支え合う仕組みとして、ハード面だけではなく、運営に関するソフト面の構築について、市の考えは

答　ソフト事業・仕掛けは、整備方針の決定後、詳細設計を進める中で、庁内関係部署とも連携をしながら、施設管理運営方法も含めて検討する。



議員のひとこと
今後、多額の予算が投じられる事業となる。詳細設計の前に利用しやすいソフト面も検討し、多くの市民から愛され、運営もしやすい設計を望む。



多くの市民に愛される新文化会館整備を

子どもたちに向き合う時間の確保

問　学校から保護者への連絡手段は基本的に紙による配布となり、その配布に関する作業が教職員の負担になっている。子どもに向き合う学びの時間確保のための教職員の負担軽減と、保護者の利便性向上のためにも、学校連絡アプリを全市に展開することが効果的だと考えるが、市の考えは

答　今後は情報収集を進めるとともに、保護者連絡用アプリを導入した先駆的な学校の評価・意見を学校間で共有を図りつつ、全市展開の可否を含めた検討を進めていきたい。



議員のひとこと
さまざまな課題を抱える子どもたち一人ひとりに向き合い、心に寄り添い、成長を支えることは大人の責務。そのためにデジタル技術も活用し、教職員の負担を軽減できる環境整備を。

動画はこちら

門間新市政として目指すまちは



豊義会　**米田　達也**　議員

答　人と地域に寄り添う市政でありたい



市長の椅子の座り心地は？

選挙について

問　投票所まで行くことが困難だという高齢者の声を聞く。今後ますます顕在化してくると懸念するが市の考えは

答　投票の機会が失われないようにすることは、重要な課題だ。現在、投票日前日に出張期日前投票所を竹野町田久日で実施している。今後、他地区から要望があれば検討する。

有害鳥獣対策

問　本市においてクマによる人への被害が報告された。これまで何度も対策が問われてきたが、根本的な解決を見ない。人里へ寄せ付けない対策、取り組みは

答　クマ対策は県が管理計画を策定し、捕獲許可権限も県が有し、市が自力で判断できることは限定される。その中で、防除と捕獲の両輪で対策している。現在（６月）、緊急的対策について県庁、県民局と具体的な調整を図っている。

問　とにかく人里へ近づけないため、殺処分できない錯誤捕獲はGPSを付けて放獣し、管理できないか。併せてバッファーゾーン、餌となる果樹の管理など現場対応に当たる市として県へ強く要望すべきだがどうか

答　県にも強く要望できる部分はしていきたい。



議員のひとこと
クマに出会う確率が高くなっています。音の出るものを身につけるといった対策を。

動画はこちら



選挙期間中の、映画上映は公平か

日本共産党豊岡市会議員団　**村岡　峰男** 議員

答　抵触するかは警察が判断すること

問　市長選挙告示の前日から、選挙期間中に「2021年・春、豊岡と選挙」と題する映画の上映会があった。事前に新聞折り込みで周知された。監督は「公選法に違反しないと弁護士の指導を受けた」といったが、違反しないから何をしてもよいのか。選挙の公平性を確保する選挙管理委員会の任務から見て見解を問う。また委員長は、この映画は見たか

答　公選法に抵触するかどうかは警察により判断される。公選法に違反しなければ何をしても良いという認識ではない。関心はあったが見ていない。公平な立場から、偏った考えを持ってはならないと思い、避けた。



議員のひとこと
映画は偏っていた。偏ってはいけないからこそ、見て選管は判断すべきだろう。

中小もある・共同の力でこそ農業は守れる 兼業的スタイルも増えている

問　市の農業政策として、大規模でなくてもよい。意欲をもって農業に挑戦する若者・後継者に支援をする政策を求める。農業は、大規模一辺倒では守れない。中小も含めて守らないと守れない。共同の力で守っている。また「半農半X」とか「兼業農家」の育成・支援が必要ではないか。「豊岡グッドローカル農業」は、計画の半分が過ぎたが見直しはするか

答　何か主たる業があって、田んぼもあるので維持していく、こんなスタイルも増えている。「豊岡グッドローカル農業」の見直しは考えていない。

動画はこちら



窓口での公共施設予約申請は今後も可能か

豊義会　**小森　弘詞** 議員

答　当面は併用していきたい

問　紙（窓口）での申請が多いように感じるが、どう評価しているか

答　全予約数6,900件のうち、7割以上がオンライン予約を利用していると推測している。



議員のひとこと
紙（窓口）での予約申請については、施設ごとの実情に応じて今後も柔軟に対応していただきたい。

コミュニティセンターの避難所機能

問　コミュニティや行政区に避難所運営への協力を求めているか

答　運営に協力していただく方針。昨年度より市職員と地域住民が一緒になって避難所運営を行う実践的な訓練をしているコミュニティ組織がある。今後の指定緊急避難場所の開設、運営の先行的事例になるものとして、市とコミュニティ組織、行政区が一緒になって、逃げ遅れのない避難所開設を考えている。



市の備蓄品を整理するコミュニティ組織の職員さん

行政区（地区）のあり方

問　小さな区によっては、隣の区との合併を考えたいというニーズがある。他の自治体では合併を推奨したり、補助金を出すところもある。市としてそういった働きかけをする考えはないか

答　市が積極的に推奨する方針は今まではなかったが、区長さん方との会議で問題提起を行い、意見を伺って、相談しながら進めていきたい。



議員のひとこと
行政区（地区）のあり方も人口減少や年齢構成の変化で見直さなくてはなりません。

動画はこちら

このページは質問者の責任において作成したものです。

出石温泉を温泉施設として今後も活用するのか



豊義会　森垣 康平 議員

答　温泉施設として今後活用するか判断しかねる

問　令和５年以来休業している出石温泉の現況は

答　今年１月に破産手続きが開始され、建物・設備は破産管財人の管理下にある。9月の次回債権者集会までに、事業承継が具現化していないと破産事件は終結する可能性がある。そうなると建物・設備の市への返還は難しくなる。

問　破産事件終結前に、最悪でも建物・施設は市に返してもらうということで間違いないか

答　今のところ、市としては契約解除の上、返還を求める姿勢。



議員のひとこと

譲渡後数年で破産するような会社へ譲渡した責任は豊岡市にある。地元が納得する対応を！



荒廃する出石温泉館乙女の湯

コミュニティセンター指定管理

問　市としてコミュニティセンターを指定管理にする意義は

答　地域が自らの判断で施設を活用した事業を実施できるようになり、職員の雇用条件や施設の柔軟な運用等が可能となる。

問　それらの意義を地域はメリットとして理解していないようだが、丁寧に地域に説明はしてきたのか

答　やってきたつもりだが、響いていない。もしくは、メリットをメリットとして受け止めてもらえていないように思う。



議員のひとこと

豊岡市地域コミュニティビジョンに掲げた計画だとしても、地域が望まないのであれば再考してもよいのでは。

動画はこちら

新たな現場監査実施の意気込みは



ひかり　義本 みどり 議員

答　今後も監査機能の充実、強化に取組んでいく

問　昨年初めて放課後児童クラブは行政監査の対象となり2カ所で現場監査が実施された結果は

答　面積的余裕のなさ、防犯上の問題点を要望事項として指摘。所管課で適切な対応を望む。



議員のひとこと

放課後児童クラブの現場を行政監査で視察するという取り組みは、全国でも極めて珍しい！

問　放課後児童クラブは重要な役割を担っているが、組織体制が脆弱で、支援員同士の横のつながりも乏しい。支援員間の連携強化の具体策は

答　3月に初めて支援員懇談会を実施。支援員同士のつながりや情報共有が図られたことは大きな効果。今後も年１回程度の実施を望む声がある。

問　特別な配慮を要する児童のクラブへの受け入れは、日々の保育を担う支援員の意見を丁寧に聴き、納得感を得ることが重要ではないか

答　指摘のとおり多く反省点がある。支援員と担当課が常に同じ輪の中で検討していくことが大事。

問　幼児教育・保育および放課後児童のあり方計画は後期計画に入る。策定当初と現在では状況が大きく異なる。見直しが必要ではないか

答　出生数や幼稚園の入園者数が著しく減少し、適正な子ども集団の確保が困難で幼稚園の役割も低下。関係者と協議しながら見直しを行う方針。

問　こども園・保育園利用者の約72％が私立園を利用しているが、教育委員が通常保育を視察する機会はなく、放課後児童クラブについては視察実績がない。教育委員自身も視察を希望している。実態把握のため視察を行うべきではないか

答　両方とも視察の機会を設ける。



子育てを支える大切な現場、第三者の目を！

動画はこちら



人手不足解消と市財政への切り札は

豊義会　**中尾 浩二 議員**

答　関係各所と連携し課題やニーズの把握に努める

問　人手不足の分野へ外国籍の労働者を雇用する企業への支援等施策はあるのか

答　人手不足が深刻化する中で、関係機関とも連携しながら市としても必要な施策があるか考えていきたい。

問　特定技能を獲得した労働者に残ってもらうための施策は

答　国や県の制度を周知するにとどまり、市の施策は設けていない。今後、くらし創造部とも連携し定着のための課題やニーズの把握から始めたい。



議員のひとこと
外国人雇用で人手不足解消と税収UP ！

問　2025年3月現在60人に1人と増加している外国人居住者への言語面・生活面での支援があるか

答　『豊岡市国際交流協会』と『にほんご豊岡あいうえお』2団体に委託（昨年度は2,200回以上の日本語教室の開催や気軽に相談できる居場所の提供など）。しかし、人員の高齢化や団体の財政的な問題が懸念される。

日本語が不慣れな子供達には、市独自の対応策として県のサポーター終了後は、6か月間、週1日4時間、市のサポーターを派遣。現場の職員や保健師を対象とした外国の文化生活習慣を学ぶ研修も実施している。



小さな世界都市を目指して

問　観光の増進についてインバウンド戦略の実態は

答　インバウンド誘客強化につなげるため※TTIと連携した施策を展開。『Visit Kinosaki』を活用しての情報発信や体験プログラムの充実に取り組み、昨年度の宿泊者数は前年度比20％増の8万人を超え過去最高を更新。今後は城崎温泉だけでなく市内の観光地への周遊につなげ、滞在日数や観光消費を増やしていきたい。

※ TTI：（一社）豊岡観光イノベーション

動画はこちら



各地域は疲弊しているがどうか

令和とよおかクラブ　**田中 藤一郎 議員**

答　振興局としての方向性を見出す

問　公共施設マネジメントでの市財政への課題と影響についてはどうか

答　昨年8月策定した長期財政見通しでは、人口減少率に比例して歳入は減収、歳出では扶助費の増額などを見込んでいる。2033年度までに年平均6.4億円収支不足となり、厳しい財政運営と認識している。

問　公共施設マネジメントでは、40年間で約1,856億円が必要。10年前と比べ今は倍ぐらいかかると思うがどうか

答　10年前から見ると、更新費用が上がっていると認識しており、厳しい状況と考える。

問　市財政は地方交付金に頼り切っている。今までどおり交付されると考えるのか

答　市の歳入は交付金等外部からの依存は3分の2を占めている。やはり歳出を制御し、絞るところは絞り、選択と集中を行う必要があると考える。



議員のひとこと
市の財政は今後、人口減少等でかなり厳しくなり、将来に向けての義務と責任がますます重要となる。

問　地域格差問題への取り組みと考え方はどうか

答　人口減少は個別地域の課題ではなく、全体の課題として捉え、取り組みを進めている。

問　各地域の方は疲弊している。人口減少対策は一丁目一番地と考えるが、支援組織を確立していく考え方はないか

答　市全体として振興局のあり方について、方向性を見出したいと考えている。



議員のひとこと
徹底的に支援をしないと地域は消滅してしまう。

動画はこちら

このページは質問者の責任において作成したものです。

今後、TSCに期待をしている部分や活動は



ことのは　**加藤　勇貴　議員**

答　とにかくやれることは全部やる

地域課題に挑む市民連携

問　市民・行政・民間が連携するTSC（豊岡スマートコミュニティ推進機構）の活動と今後の展望で期待しているのはどこか

答　とにかくやれることは全部やるという姿勢で、一つ一つのプロジェクトや今の課題に向き合い、TSCの行動する理事長として取り組んでいく。



議員のひとこと
テクノロジーと現場の知恵を活かし、豊岡の未来に挑戦する実践の場として期待します。

※保育園留学で関係人口創出

問　保育園留学制度を活用した短期滞在型のお試し移住と関係人口の創出について、豊岡で段階的に制度検討を進めてはどうか

答　保育園留学は関心が高く導入打診もあったが、課題が多く実施に至っていない。一方で、本市の教育は移住検討者に響く要素であり、関係人口の創出に向け情報発信を続けたい。



議員のひとこと
“もうひとつのふるさと”を持つ人が増えることで、地域の力が広がっていくことを期待します。



保育園留学の導入で関係人口創出

竹野で先行する新交通策

問　竹野地域に導入予定の「予約型乗合交通」、他地域への展開可能性はどうか

答　竹野のケースをモデルとして検証し、他地域の事情に応じて展開や微修正を行い、地域の皆さんと一緒に考えていきたい。



議員のひとこと
竹野での先行事例が、持続可能な地域交通のモデルになることを期待します。

※「保育園留学」は、㈱キッチハイクの商標です。

動画はこちら

豊岡の地図混乱区域の事業推進を

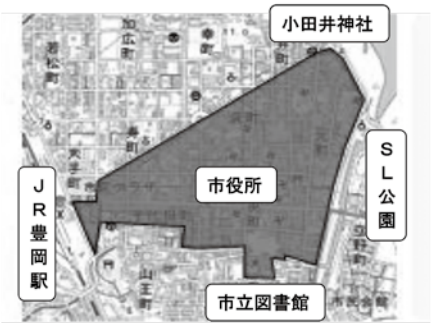


豊義会　**浅田　徹　議員**

答　市は事業が円滑に進むよう積極的に協力する

問　北但大震災100年目の今年、豊岡市街の面積約50ha、3,400筆の土地について、法務局が境界の確認から登記までを２カ年で行い、震災復興が完了の運びとなるが、市はスムーズな事業推進の方法をどのように考えているのか

答　市は、市道・水路と民地との官民境界確定業務の経験豊富な職員で対応し、加えて、知識や経験豊富な地元の土地家屋調査士をアドバイザー委嘱して意見や助言をいただきながら、土地境界の確定が円滑に進むよう、積極的に協力する。



北但大震災による地図混乱区域

安心安全に暮らせるまちづくり

問　城崎温泉街の火災死亡者ゼロを継続するための新たな防火対策が必要だと考えるがどうか

答　街区の定期的な建物調査、消防職員立合いによる旅館訓練の強化、外国人宿泊者向けの避難誘導リーフレット等の作成およびドローンやブーム付き多目的消防車による高所からの視点を活かした消防活動を新たな取り組みとして展開したい。

問　六方水門の閉門水位の見直しおよび排水ポンプの事前排水の検討が必要と考えるがどうか

答　道路冠水が常習化していることは聞いており、国と情報共有しながら検討を進めていきたい。

問　田んぼダムを流域対策および都市政策として検討すべきと考えるがどうか

答　県の総合効果治水条例の根拠や国・県の知見をいただきながら、上流域の自治体にも協力いただけるような機運醸成と発信やお願いもしていきたい。都市政策として位置づけるためには、エリアが限定的であれ、どういう効果があるかを精査しながら次の施策につなげていく研究を進めたい。

動画はこちら

意見書

採択された
意見書はこちら

意見書案第2号：米の価格高騰対策と持続的な農業政策を求める意見書

提出者：豊岡市議会議員 石田 清 上田伴子 加藤勇貴 清水 寛 須山泰一 田中藤一郎 福田嗣久 村岡峰男 山田貴久 義本みどり

要旨：本意見書は、令和６年夏に発生した深刻なコメ不足および価格高騰を受け、国民の主食であるコメの速やかな価格高騰対策を実施するとともに、米価の安定対策を積極的に図ること、及び、低い米価と農業資材の高騰に苦しみ、離農が進んでいる実態や、大規模農業だけでなく、家族農業などすべての農業者が意欲を持ち、農業経営を継続できる農政への転換が求められる時代において、農家への所得補償、農産物への価格保障を抜本的に充実し、農業に希望をもって、安定して生産を続けられる条件を整えることを国に求めるもの。

【反対討論（要旨）】

農家支援の必要性は理解するが、本意見書が主張するような恒久的な価格保証や所得補償の全面的な拡充は、財政負担の面から現実的とは言えず、さらには、農業のあり方を中長期的に議論すべき時に「感情論や過去の政策批判に終始した内容」は適切な方向性を示しているとは言えない。また、「減反政策が混乱の原因」と断じているが、過去の減反政策は米価の暴落防止や需給調整の一手段として、一定の役割を果たしている。これを全否定する姿勢もまた、歴史的経緯や政策の多面的な影響を無視するもの。

現在米価は安定に向かい、地域では前向きな対策も進められており、今求められているのは、持続可能で現実的な農政への段階的な移行であり、感情的･単一的な要求は適当ではない。

【賛成討論（要旨）】

昨年夏に発生した「令和のコメ騒動」は、スーパーからコメが消え、主食であるコメが買いたくても買えない事態を招いた政治の責任は重大。この混乱の最大の要因は、全水田での作付をさせない生産調整政策（減反政策）こそ、「コメ不足」の最大の責任であることは明白であり、主食であるコメを含む食料自給率が、38％と先進国で最低水準であることが農業政策上、最大の問題。意見書案が求めている、米価の安定対策と同時に、農家への所得補償と生産物への価格保証を充実させてこそ、農業への未来が開けると考える。

また、この混乱の責任は、自民・公明政権そのものであり、小手先の改革では、食料政策の改善も、また国民の食糧生産を担う農業政策の改革は程遠いものであることは明白。国民の暮らしに最も近い存在である地方議会こそ、敏感に、国民の生活困窮の声を、国をはじめ関係機関に上げる必要がある。

本会議での採決：反対多数で不採択

意見書案第3号：地方消費者行政の維持・強化のための対策を求める意見書

提出者：豊岡市議会文教民生委員会 委員長　清水 寛

要旨：本意見書は、2023年において消費生活相談件数が90万件台と高止まり、被害・トラブル額が過去最高の約8.8兆円に達したことを踏まえ、特に高齢者を中心とした消費者被害の深刻化とその多様化・高度化に対応するため、地方公共団体における消費者行政の体制強化を図る必要があることを国に求めるもの。



本会議での採決：全会一致で可決

意見書案第4号：子どものゆたかな学びと育ちを保障するための2026年度政府予算に関する意見書

提出者：豊岡市議会文教民生委員会 委員長　清水 寛

要旨：本意見書は、学校現場の貧困や不登校、教職員の長時間労働など多くの課題に対し、働き方改革には、加配教員の増員や教職員定数の見直しが不可欠であること、学級編制標準は小中高での段階的引き下げと少人数学級の推進が必要であることなど、次期学習指導要領では内容の精選と授業時数の削減が強く求められるため、地方教育行政が計画的に進められるよう、国に必要な財政措置を講じることを求めるもの。

本会議での採決：全会一致で可決

常任委員会視察報告

総務委員会（5月19日～21日）

移住定住の取り組み（佐賀県唐津市）

全国の地方と言われる市や町が、どこでも「人口減少」とたたかっている。唐津市は、「移住者対策」として、移住希望者の相談（住居・仕事・子育て）から「お試し住宅」も活用し、移住による人口増を進めていた。豊岡市が「地域おこし協力隊」制度の活用で、100名を超える移住者を迎えているのに対して、唐津市では８名だと聞いて、少々驚きでもあった。佐賀県では、他の自治体でも同程度と聞き、制度に対する地域間格差があるように思った。

福津市未来共創センター「キッカケラボ」と「郷づくり事業」（福岡県福津市）

福津市は、福岡市と北九州市の中間にあり、近年は、２つの大都市からの移住者で人口も増えていると聞き、人口減とは違う「悩み」を聞いた。市民活動に関心を持つ人・団体を伴走支援する「キッカケラボ」また、各集落から、地域活動に取り組む「郷づくり事業」についても担当者から聞き学んだ。大都市圏からの人口移動による人口増は、第１次・第２次産業の移動を伴わないという問題もあるが、人口減少の課題に比べると「贅沢な悩み」のように思える視察であった。



唐津市移住・定住施策の説明を受ける委員

文教民生委員会（5月19日～21日）

重層的支援体制整備事業（愛知県豊川市）

市と社会福祉協議会の職員が相互に出向し連携を強化することで、複合的な課題を抱える市民への包括的支援体制を構築しており、内容はもちろん職員体制も大変参考になった。

ターントクルこども館（静岡県焼津市）

施設を核とした子育て支援策を視察。遊びと学びを融合させた当該施設は多くの親子連れで賑わい、また地域商店街活性化の拠点としての機能もあり、集客施設の可能性を感じた。

ながふじ学府小中一体校（静岡県磐田市）



ターントクルこども館で子育て支援

施設一体型の小中一貫教育は、不登校率の低下など児童生徒に大きな利点がある一方、校長が２人体制であることによる運営の複雑さや教職員の負担増といった実情も明らかになった。

３カ所それぞれの先進的な取り組みから、本市が抱える諸課題の解決に有益な知見を得られた。特に磐田市の事例は、本市の学校再編を具体的に進める上で重要な示唆を含んでおり、今後の委員会活動で活かしていきたい。

常任委員会視察報告

建設経済委員会(5月19日～21日)


玉名市役所で説明を聴く委員

短時間ワークシェアリング「おしごとパレット」
(福岡県豊前市)

さまざまな挑戦の場（しごと）を用意し、“仕事を通して、活躍できる場”を創出する仕組み「おしごとパレット」。仕事の「募集」「紹介」「マッチング」は（一社）豊前生涯活躍地域づくり協議会が担っている。

老朽危険家屋等除却促進事業（空き家対策）(福岡県豊前市)

特徴として補助率３分の１上限30万円、実績としては2020年20件をピークとして、５年間継続。平成27年度に制度創設し家屋解体後の土地の固定資産税を最長10年間減免していた。

「集落における無意識の『えづけ』を止めてわずか1年で被害ゼロを実現」について
(熊本県玉名市)

鳥獣被害として、中山間地域におけるイノシシによる水稲及び果樹の被害が大きく、果樹（特にみかん）の被害が甚大であった。対策として、国・県及び市が実施する有害鳥獣対策施策について、地域の実態に即し、地域の自主性と創意工夫を活かしながら効果的な被害対策を推進している。

「歴史的資源を活用した観光まちづくり」(福岡県太宰府市)

①ファイナンススキームと民間連携②地域経済と住民への波及効果③文化資源の保全と活用のバランス④今後の展望と他地域への展開の可能性

その後どうなった?!



3月定例会の委員会審査における委員会意見と回答

全文はこちら

竹野地域小中一貫校整備

低学年棟の完成が延期され残念。計画段階からの十分な準備や、地元への丁寧な説明、議会への速やかな情報提供を強く要望する。 **(文教民生委員会)**

保護者や地元、議会への情報提供についても速やかに、また丁寧に行うよう心掛ける。 **(教育総務課)**

超過課税の検討

財政事情などを踏まえて、賦課する額や期間などを検討し決定することが一般的であるので、今後に向けて十分検討されたい。 **(予算決算委員会)**

まずは支出抑制を進めてからであると考えている。市の財政事情を勘案し、他自治体の状況も踏まえながら研究していきたい。 **(財政課)**

「ウェルストーク豊岡」の改修

利用状況は旧豊岡市民に偏っている現状である。全市域に波及効果があるような施策を考えていただきたい。 **(予算決算委員会)**

介護予防も含め健康・福祉サービスを一体的に提供する拠点施設と位置付けており、2025年度以降は各地域に出向いて、様々な事業の展開を計画している。今後も引き続き、全市域に波及効果が及ぶようなイベントなどの実施を検討する。 **(健康増進課)**

まちの仕掛人 訪問インタビュー

～待ちに待った新城崎大橋完成！～

そのお気持ちを円山川城崎ローイングクラブ理事長の結城英和氏にお聴きしました。

「本当に念願の新城崎大橋ができて城崎市街からボートセンターがすごく近くなりましたし、皆さんにこれまで以上にお越しいただく機会が増えたと思います。

これを機にもっともっとたくさんの人に円山川に来ていただき、川の上からの眺めを楽しんでいただけたらと思います。」



理事長の結城英和氏

インタビューを行った日はあいにく気温35度を超える猛暑でした。

新城崎大橋を見上げられるボートセンター前の円山川ではボートレースが開催され、沢山のチームが日頃の練習の成果をいかんなく発揮されていました。



暑い中にも関わらず参加者の皆様は老若男女、さまざまな方々が競漕、そして応援を心ゆくまで楽しまれていました。

こういうイベントを通じてまちを活性化することこそ市にとって一番大切である！と実感しました。

※９月27日㈯・28日㈰、全国市町村交流レガッタが現地で開催されます。

9月定例会の日程（予定）

開　　会	8月29日（金）　9時30分～
一般質問	9月8日（月）～11日（木）　9時30分～
常任委員会審査 （総務・文教民生・建設経済）	9月16日（火）・17日（水）　9時30分～
常任委員会審査（予算決算）	9月11日（木）※1、24日（水）※2
特別委員会審査	9月19日（金）　9時30分～
閉　　会	9月26日（金）　9時30分～

※1　一般質問終了後に開催　※2　9時30分～

【傍聴について】

一時保育（無料）もありますので、一時保育利用希望者は１週間前までにお申し込みください。また、豊岡市議会インターネット中継によりパソコン、スマートフォンから審議の様子を生中継でご覧いただけます。

■問合せ／豊岡市議会事務局
☎ 0796-23-1119

編集後記

▼市民の皆さまに議会への関心を持っていただくための方法の一つとして、より良い「議会だより」を作成することが重要だと考えています。

議会での議論の内容を正確にお伝えすることはもちろん、市民の皆さまにとって見やすく、親しみやすい紙面づくりも大切です。

▼この「議会だより」の作成には、議会広報広聴特別委員会が中心となって取り組んでいます。

まだ課題もありますが、委員一同、より良い紙面を目指して積極的に協議を重ねてまいります。

（おかもと　しょうじ）

▼初めての議会！新人議員ながら、一般質問もさせていただき、あれよあれよというちに終了。「わからないことだらけ」からのスタートでしたが、少しずつ市議としての実感が湧いてきました。

▼さまざまな方々のお話を伺い、日々、地域の課題や市民の声に向き合いながら「議会だより」の作成に努めていきます。

これからも現場の声を大切にし、皆さんと一緒に豊岡のまちづくりに役立つよう、より良い紙面づくりを進めていきたいと思います。

どうぞよろしくお願いします！

（なかお　こうじ）

議会広報広聴特別委員会

委員長	前田	敦司
副委員長	芦田	竹彦
委員	太田	智博
〃	岡本	昭治
〃	清水	寛
〃	中尾	浩二
〃	村岡	峰男

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。